

ボランティア来園

10月23日、「ふるさと」や「川の流れるように」など数々の歌が愛日荘園内に響き渡りました。

歌唱ボランティアとして活動されている、斎藤しのぶ様が来園され、素晴らしい歌声を披露していただきました。

利用者の皆様は、一緒に口ずさんだり手を叩いたり、大変感動した様子でした。歌は元気を与えてくれますね！



内部研修

9月13日、特養ホームの看護師が講師となり、感染症予防の知識と口腔内吸引の方法についての研修会を行いました。

内部での研修を実施することにより、職員一丸となって感染症の蔓延防止に努め、利用者の皆様が今後とも安心して生活を送って頂けるよう努力してまいります。



介護教室

9月26日、大波地域の皆様と介護、福祉についての理解を深めるとともに、健康作りを目的とした「介護教室」を土屋場集会所で開催いたしました。指先運動などの健康体操、福祉用具の実演、栄養講座を実施し、参加された皆様から好評をいただきました。

愛日荘園では、これからも地域の皆様と交流を深め、微力ながら皆様のお役に立っていきたくと考えております。



秋の総合消防訓練

11月8日の秋の総合消防訓練では、今回も施設防災協力員、大波女性防火クラブの皆様にご協力をいただき実施いたしました。通報や伝達、誘導時の連携など緊張感を持ちながら行動し、効果的な訓練となりました。施設の防災体制については、地域防消協会の連携が重要でありますので、今後とも地域の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。



あいち

生き生きメモ

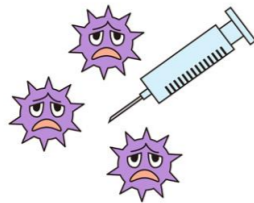
第4回

「インフルエンザに注意しましょう」

11月に入り、毎年この時期から冬にかけてインフルエンザが流行します。今回はインフルエンザの主な症状や予防法について御紹介いたします。

【インフルエンザの主な症状】

- ・38℃以上の高熱
- ・全身のだるさ
- ・関節の痛み
- ・のどの痛み
- ・咳などの風邪症状 など



【予防法】

- ・外から帰ってきたら手洗い、うがい
- ・バランスの取れた食事と十分な睡眠
- ・外出時にはマスクの着用
- ・人ごみへの外出はなるべく控える
- ・予防接種を受ける

【対処法】

- ・早めの受診
- ・水分をたくさん摂る
- ・安静にしてゆっくり休む

予防接種を受けても、安心できるわけありませんが、症状が軽く済むことがあります。特に高齢者や小さなお子さんは重症化する危険性が高いため、注意が必要です。日頃から上記の予防法、対処法で免疫力を高め「風邪？インフルエンザ？」と思ったら早めに受診しましょう。

【編集後記】

早いもので、平成27年も残すところ1ヶ月余り。12月13日には特養ホームで「忘年会」が行われます。利用者の皆様や御家族の皆様へ1年の締めくくりにお祝い感あふれる忘年会になるよう、準備を進めております。なお、広報誌は今回が今年最後の発行です。来年も更に内容が充実できるよう頑張りたいと思います。

職員募集のお知らせ

愛日荘園では、**介護士**として一緒に働いていただける方を募集しております。

詳細については、お問い合わせください。

愛日荘園 TEL:024-588-1120 担当:松浦



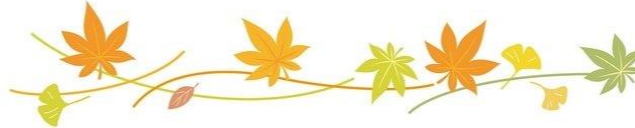
平成27年11月
第97号

あいち 愛日荘園 だより

社会福祉法人篤仁会
 特別養護老人ホーム愛日荘園
 愛日荘園デイサービス指定通所介護センター
 愛日荘園指定居宅介護支援センター
 愛日荘園短期入所生活介護センター
 〒960-0811
 福島市大波字熊野山1番地
 TEL:024-588-1120 FAX:024-588-1148
 URL:http://www.ainichisouen.net/
 E-Mail:ainichisouen@air.ocn.ne.jp



大波住吉神社 「三匹獅子舞」が来訪



三匹獅子舞ならびに
鬼舞保存会 大波勝弘会長

10月11日、大波住吉神社の秋の例大祭にあわせて、「三匹獅子舞」の関係者の皆様が愛日荘園に御来園され、伝統ある舞を披露していただきました。

この獅子舞(鬼舞)は、昭和37年に福島市の「無形民俗文化財」に指定され、その発祥は天保年間とされる長い歴史のあるものです。

近年、この貴重な獅子舞は、踊り手となる子供の減少で担い手の確保が難しくなっています。踊り手の資格要件は「地区の長男」であるということですが、震災後には避難により少子化に拍車がかかり、現在ではこうした条件も緩和され、兄弟や女子、また地区外の子供であっても、希望があれば踊り手になれるとのこと。保存会の会長である大波勝弘さんは、「獅子舞には五穀豊穡のほか、無病息災、子孫繁栄など地域の方々の大切な思いが込められており、この伝統文化が途絶えることがあってはならない。また、子供が少ない現状の中で、いかに存続させるかということが最大の悩みである」と話されておりました。

今回、私達一同獅子舞を拝見させていただきましたが、伝統の継承のために、関係の方々には様々な苦勞があることを改めて知ることができました。愛日荘園といたしましても「三匹獅子舞ならびに鬼舞保存会」の皆様の今後の活動を応援、協力させていただきたいと思っております。

大波勝弘会長をはじめ保存会の皆様には今回の訪問、誠にありがとうございました。



特養ホーム、デイサービス 合同芋煮会

10月15日、今年も特養ホームとデイサービス合同での「芋煮会」を開催いたしました。

芋煮の材料となるネギ、白菜、ニンジン、ゴボウなどの野菜の仕込みをお手伝いしていただいた利用者の皆様の中には、「久しぶりに包丁を握ったよ」という声も聞かれ、皆さん談笑しつつも真剣な表情で取り組まれておりました。

その後、屋外に設置した大鍋で煮込むと、利用者の皆様それぞれの思いが詰まった、おいしい芋煮ができあがりました！



秋晴れの下、薪で焚かれた鍋を眺めながらの食事は、食欲も刺激されるようで、おかわりされる方もいらっしゃいました。

また、仕込みの手伝いをされた利用者の皆様にとっては、いつもよりも一層おいしい特別な芋煮となったと思います。



デイサービス 敬老会&カボチャ収穫祭

愛日荘園デイサービスセンターでは秋の行事として、9月22日から3日間、「敬老会&カボチャ収穫祭」を開催！

園の中庭で利用者の皆様と一緒に種から育てて、この秋立派に実ったカボチャを収穫し、「蒸しパン」を作ってみました。

カボチャは固いので切るのが大変でしたので、男性の利用者の皆様も包丁を持ち切っていただきました！

同時に行われた敬老会では、職員による寸劇「桃太郎」の披露と、敬老の日のプレゼントとして手作り祝い船をお渡ししました。

寸劇の途中では、利用者の皆様にも参加いただき笑顔があふれる時間となりました。その後、ふっくらと仕上がったカボチャの蒸しパンを食べながらしばしの談笑。

食べて笑って、充実した時間を過ごしていただけたと思います。



出来上がった「カボチャの蒸しパン」！



敬老会のプレゼント
「手作り祝い船」



職員による寸劇「桃太郎」の様子



愛日荘園 秋の行事



特養ホーム、デイサービス 二本松の菊人形



特養ホーム 職員も一緒に集合写真！

今年も特養ホームでは10月22日、デイサービスセンターでは10月20日～29日のうち5日間にわたり、二本松の菊人形を見学してきました。

参加された利用者の皆様は「昔行ったことあったけど、久しぶりに見るとやっぱり良いもんだね」と咲き誇った菊の花や、優雅に花をまとった人形を見ながら、秋の雰囲気を感じていた様子でした。

二本松の菊人形の規模は、日本最大級と言われていますが、今年のテーマは「幕末維新伝」で、幕末から明治にかけての偉人の姿がとても華やかに多数展示されていました。



デイサービス



ボランティアの方もご協力くださいました！



特養ホーム あづま運動公園のイチョウ並木散策

木々が色づき始め、紅葉が見頃の10月29日、特養ホームでは利用者の皆様に秋を感じていただこうと、あづま運動公園のイチョウ並木を散策してきました。福島市の観光名所の一つでもある並木道は見事に黄色く色づいており、晴天の下、眩しそうにイチョウの葉を眺めている利用者の皆様の表情がとても印象的でした！



公園では、イチョウ以外の木々も赤く色づいており、秋の深まりが感じられました。青い空とのコントラストが感動的でした！